

家畜衛生便り

令和7年4月10日発行

西部家畜保健衛生所 ○吉野川庁舎 〒776-0002 吉野川市鴨島町麻植塚136-3 TEL 0883-24-2029 FAX 0883-24-1397
○東みよし庁舎 〒779-4703 三好郡東みよし町中庄856-1 TEL 0883-82-2397 FAX 0883-82-4843
家畜保健衛生所ホームページURL <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/sangyo/chikusangyo/2014022000090/>

ごあいさつ

所長 谷 史雄



日頃より、畜産農家の皆様、また関係者の皆様におかれましては、家畜保健衛生所業務の推進に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

この度の定期異動により、西部家畜保健衛生所に勤務することとなりました。新たなメンバーで新年度をスタートします。不慣れな点もあるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

さて、畜産を取り巻く情勢につきましては、令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴うインバウンド需要の回復基調など、明るい兆しもある一方、ロシアのウクライナ侵攻など長引く不安定な国際情勢、円安、物価高の影響で、飼料や燃料など生産資材の価格高騰が続き、依然として厳しい状況となっております。

また、家畜衛生を取り巻く環境を見ましても、例年全国的に流行する高病原性鳥インフルエンザ、昨年、四国を含む6県で発生が確認された豚熱、国内で初めて福岡県において発生が確認されたランピースキン病、更には海外で流行し国内侵入が危惧されるアフリカ豚熱や口蹄疫など、畜産農家にとって脅威となる家畜伝染病の発生が年々増えてきている状況となっています。

このような状況の下、家畜保健衛生所では地域の家畜衛生の向上を図り、畜産経営の改善、畜産の振興に少しでも貢献できるよう職員一同一丸となって、業務に取り組んでまいりたいと思っております。畜産農家の皆様方におかれましては、農場への病原体の侵入を防ぐため、引き続き飼養衛生管理基準の遵守について、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、今年度も管内畜産農家並びに関係者の皆様の一層のご理解とご協力を頂きますよう、よろしくお願いいたします。



令和7年度 西部家畜保健衛生所 職員

所 長 谷 史雄（徳島家畜保健衛生所から転入）
次 長 水野 一郎（農林水産総合技術支援センター高度技術支援課から転入）
次 長 富久 裕介〔美馬・三好担当〕（食肉衛生検査所から転入）

衛生防疫第一担当 【吉野川庁舎】

課長補佐（リーダー）	山本 由美子
係 長	川田 健太
係 長	横山 卓矢（徳島家畜保健衛生所から転入）
係 長	森川 かほり
主 任	松英 百合子
主 任	高砂 絵美（東部県税局から転入）
主 任	才力 慎也（畜産振興課から転入）
主 事	岡脇 良奈
会計年度任用職員（獣医師）	鴻野 文男
会計年度任用職員（獣医師）	松尾 功治
会計年度任用職員（獣医師）	笠井 裕明
会計年度任用職員（補 助）	田村 幸子

衛生防疫第二担当 【東みよし庁舎】

主査兼係長（リーダー）	丸谷 永一
係 長	森川 繁樹
主 事	木村 竜盛（新規採用）
会計年度任用職員（獣医師）	色原 豊彦
会計年度任用職員（獣医師）	刈谷 亮介
会計年度任用職員	立川 沙織
会計年度任用職員（補 助）	浜田 るり子

〈転出者・転出先〉

（所 長） 福見 善之	畜産振興課長
（次 長） 笠原 猛	農林水産総合技術支援センター畜産研究課長
（課長補佐） 福見 貴文	食肉衛生検査所 課長補佐
（主 任） 竹元 一軌	食肉衛生検査所 主任
（主 任） 赤星 啓	動物愛護管理センター 主任

〈退職者〉

（次 長） 笠井 裕明
（主査兼係長） 樋口 典子
（会計年度任用職員・獣医師） 井内 民師

伝染病予防のため、 適切な飼養衛生管理を実施してください

- 異常家畜の早期発見、早期通報をお願いします。

日常の健康観察を徹底し、家畜伝染病を疑う症状を呈している家畜を発見したときは、**直ちに通報**してください。

＜連絡先＞西部家畜保健衛生所

吉野川庁舎 0883-24-2029

東みよし庁舎 0883-82-2397

家畜保健衛生所は、休日・夜間も24時間対応しております。

- 農場出入口・畜舎周辺の消毒の徹底に努めてください。
- 中国や韓国など、家畜伝染病発生国からの人や物の流通に留意してください。
- 農場に出入りする人や車両の消毒をお願いします。
- 衛生管理区域内に野生動物が侵入しないよう、御注意ください。
- 家畜の死体を保管する場合には保管庫等を設置し、野生動物の侵入を防止してください。
- 当所からの広報等、情報の収集に努めてください。

「家畜せつ物」の適正管理に努めてください！

家畜排せつ物の不適切な管理により、悪臭、ハエなどの衛生害虫の発生、河川や地下水の汚染などを引き起こす可能性があります。

不適切な管理



野積み



素掘り

管理の適正化

利用の促進

管理基準に適合した管理と処理・利用(例)

堆肥化



高度利用(メタン発酵)



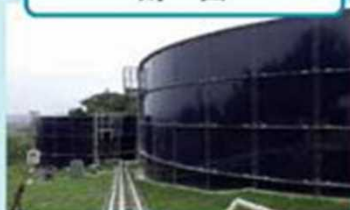
浄化・液肥化



高度利用(焼却)



貯留



簡易対応



たい肥の散布方法に注意しましょう！

たい肥を使用する際には、次の点に注意してください。

- 農地に搬入したたい肥は速やかに鋤き込む
- 耕種農家へたい肥を販売、譲渡する場合も、速やかな鋤き込みを促す
- 過剰なたい肥散布はしない

※ 家畜排せつ物の野積みは、自らの所有地内でも「不法投棄」に該当する場合があります



豚熱ワクチン接種農場から接種区域外（北海道）への胎盤等の移動はできません

豚熱ワクチン接種農場においては、豚熱ウイルス拡散のおそれが否定できないことから、「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、生きた豚等や豚等の排せつ物等（胎盤を含む）については、原則として接種区域内（北海道以外の都府県）の農場等への移動・流通に限られることが定められています。

千葉県および群馬県で豚熱の患畜確認

○国内97例目

- ・2025年3月31日
- ・農場所在地：千葉県旭市
- ・飼養状況：約5,480頭
- ・疫学関連農場：4農場、約370頭

○国内98例目

- ・2025年4月4日
- ・農場所在地：群馬県前橋市
- ・飼養状況：約6,800頭

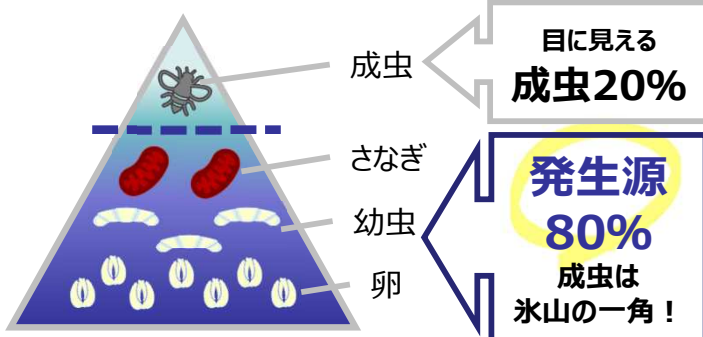
国内での野生イノシシでの感染も継続して確認されており、ウイルスの侵入リスクが高い状態が続いています。

引き続き、飼養衛生管理の徹底、適時・適切なワクチン接種をお願いします。

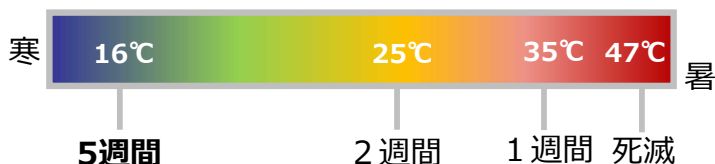
春先に向けたサシバエ対策で 牛を病気・ストレスから守りましょう！

はて？ 冬季のサシバエ対策？ 春・秋よりサシバエ見ないけど・・・

成虫がいる＝幼虫はもっと潜んでいる



温度とサシバエが卵から成虫になるまでの
発育日数の関係



冬季は気温が低いので、発育速度が遅い！
幼虫対策をすれば、殺虫剤を撒く回数も減少！

九州の冬季サシバエ対策は、寒いうちから！

スタートが遅れると、ハエの数は爆発的に増加します・・・

1. 幼虫対策は、堆肥等の管理とIGR剤の散布！



堆肥の切り返しは
隅々まで！



牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！



つなぎ牛舎は
バークリーナーへ散布！

2. 成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで！



地面や床から2mは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！
隙間や穴がないか確認を！



殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！



殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！

3. 対策は地域ぐるみで！ 関係業者も一緒に！

サシバエ対策、ここをチェック！

1 堆肥・敷料・残餌はしっかり管理できている！

- ・切り返し等により堆肥発酵時の中心温度が65度になることを確認
- ・牛床は清潔に保たれ、汚れた敷料や残餌は片付いている

いいえ

IGR剤を撒き、幼虫対策をしている！

- ・バンスクレーパーが通る前にバークリーナーに散布
- ・牛の踏まない所を中心に散布（特に牛舎隅など）

いいえ

サシバエ幼虫は、堆肥等の管理 + IGR剤で限りなく減らそう

サシバエの成虫 1 匹は、生涯600個もの卵を産む。冬の成虫 1 匹は来シーズンの 1 万匹に相当すると言われるほど、冬季対策が重要。サシバエの活動が低下している冬季だからこそ、地域ぐるみで幼虫対策をしましょう！

すばらしい！

はい

その調子！

はい



2 牛舎内でハエ成虫をほぼ見ない

いいえ

サシバエ成虫を、牛舎内で見かけたら、対策徹底！

サシバエは農場内でも発生するし、他所からも飛んだり運ばれたりしてやってくる。地域ぐるみでの対策が重要。サシバエの持ち出しや持ち込みがないよう農場出入り業者にも車内の殺虫をお願いしましょう。

みんなのお手本！

はい



サシバエ成虫対策 3つのポイント

1. 殺虫剤はローテーション

同じ殺虫剤を連用していると、生き延びたサシバエが耐性を持つことがある。
殺虫剤が効きにくくなる前に、系統が異なる殺虫剤とローテーションで回していこう。
十分な濃度・噴霧量で散布しているかも要チェック。

2. 防虫ネットの設置

地面から2mの高さまで床から天井に向けて設置。穴が開いてないか定期的にチェック。

3. 下草刈りや防草シートの設置

サシバエが日中休息する牛舎周辺の下草を刈ろう。防草シート設置も効果的。